

令和6年度第1回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年4月23日（火）午後1時27分～午後2時46分

2. 会 場 士別市教育委員会 会議室

出席者	教育長	泉 山 浩 幸	生涯学習部長	三 上 正 洋
	職務代理者	馬 場 千 晶	学校教育課長	岡 田 詔 彦
	委 員	加 藤 洋 之	社会教育課長	千 葉 真奈美
	委 員	山 田 敦 久	合宿の里・スポーツ推進課長	徳 竹 貴 之
	委 員	多 田 千 鶴	学校教育アドバイザー	石 橋 克 敏

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

先日、ゴールバーンマルワリー市から市長等14名が来市され、22日に帰られた。温根別でサケの放流を行うなど、学校教育の様子も視察され大変喜ばれていた。

入学式は朝日地区両校と士別小に出席し、朝日中学校では、今年度は加配教員が配置されるなど十分なスタッフで教育活動がスタートしたところである。今後は、義務教育のあり方等について協議を深めていく予定である。

先日、校長会、教頭会を行った。学校運営やカリキュラムマネジメント、また人材育成をしっかりとやっていただくようお願いしている。

全国学力・学習状況調査が先週行われた。新聞などで問題を見ているが、小学校の国語の第1問はメール本文から始まっている。これまでは漢字や文章からだったが、これで戸惑う子供もいるかもしれない。問題的には6から7割位の正答率ではないかと思うが、今後は各学校で指導の改善に努めることと思う。

翔雲高校、東高校では参観日が行われ、授業を見てきたが、それぞれの指導者は生徒の実態に応じ、工夫しながら授業を行っていた。

昨日、管内の研修会が行われ、担当主査が上川の「まなびフォーカス」について説明をしていたが、上川の子どもたちのためにということで、校長会や教頭会でも周知をしていきたい。

今日、このあと教育推進会議が行われ、私から教育行政執行方針について概略を説明するが、1枚ものの「士別市まなびフォーカス」を作成した。この内容は執行方針にも書いてある内容で、今年度の辞令交付式にお願いした言葉であるとか、私の思い、教育委員会の思いを含めて説明をしたい。これからの状況が変われば、随時内容も変更していきたいと考えている。

今日、この後は長丁場になるが、よろしくお願いします。

2 議事について

○泉山教育長

議案第1号 「士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任（委嘱）」について説明を求める。

○千葉課長

令和5年度、6年度の任期がほとんどであるが、人事異動により新しく着任された方に変更している。

○泉山教育長

たくさんの方が関わっているのが改めて感じる。

このような形で進めてよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第2号 「士別市学校運営協議会委員の選任（委嘱）」について説明を求める。

○千葉課長

それぞれの地区、学校の運営協議会運営委員候補者について、1年任期で新たな方に代わっているところもある。東高は地域コーディネーターが岡田事務長と田中主任主事の2名となっている。

○泉山教育長

本市すべての学校11校がCSということでもいいか。地域で一緒に運営協議会となっているところもあるが、11校全部ということでもいいか。

○千葉課長

はい、11校すべてである。翔雲高校はまだである。

○泉山教育長

翔雲高校はあと1、2年ということで動いている。

これについてもこのような形でよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第3号 「令和6年度地域コーディネーターの選任（委嘱）」について説明を求める。

○千葉課長

3月27日の教育委員会会議において、中央北地区・中央南地区の石川里沙さん、上士別地区の渡辺砂織さん、多寄地区の酒田純子さんのご承認をいただいている。温根別地区の方の名前を控えさせていただいていたが、今回承認をいただきたい。温根別地区のコミュニティスクール、吉田さくらさんは農業をされており、地元でもご活躍されている方であり、地域コーディネーターをお願いしたい。また、2番目の地域コーディネーターは、工藤アドバイザーはじめ職員3人、先ほど申し上げた東高2人体制のコーディネーターをお願いしたい。

○泉山教育長

以上のとおりでよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第4号 「令和6年度士別市青少年指導センター指導員の選任（委嘱）」について説明を求める。

○千葉課長

各学校の教職員の方に指導員をお願いしており、新たに2名に委嘱したい。こども子育て応援課、くらし安全課の市職員から指導員に選出いただいている。PTAからも委嘱をするが、後日、教育委員会会議に諮ってまいりたい。

○泉山教育長

以上のとおりでよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第5号 「令和6年度士別市教育推進の重点」について説明を求める。

○三上部長

教育行政執行方針に基づき作成しており、教育推進の重点は教育委員会の点検評価に関わるもので、令和6年度の重点は1年間終えた後に来年の夏に3段階の評価で採点をしていくもの。今回、教育委員会会議で諮り、教育推進会議で説明をしていきたい。

前段は、昨年5月から新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、日常が戻りつつあるといったところからの入りとなっている。次の段落から、教育長が色々な場でお話をされている「教育振興基本計画」で示されている「持続可能な社会の担い手」「社会全体のウェルビーイング」というキーワードを盛り込みながら前段の作りになっている。これまで教育長がさまざまな会議でお話をしている、子どもの理解の感度を高める学校運営と学級づくりは、私たち教育委員会職員も含め学校現場の職員が同様の考え方で取り組んで欲しいという思いを盛り込んでおり、教育推進会議で話していく。組み立て方は、1つ目には学校教育、2つ目には社会教育、3番目にはスポーツの振興、4番目には文化芸術の振興、5番目には教育学習環境の整備で、この組み立て方図は変わっていない。3年前は項目が多く、点検評価の時に50項目ぐらいあったが、絞って現在の形になっている。昨年度同様の本数になっており、このあとそれぞれ学校教育から説明し、全体説明が終わったのちに士別市教育推進の重点について、ご承認をいただければと思う。

○岡田課長

学校教育の基本方針として、教育振興基本方針に基づいた持続可能な社会の作り手の育成、日本社会に根差したウェルビーイングの向上の構築の推進であり、引き続き個別最適な学びと共同的な学びの推進に努めるとともに教職員研修の一層の充実化を図ることにより、質の高い教育のもと、より良い学校づくりに努める。また、部活動の地域移行については、学校、保護者、地域団体などで組織する「士別市地域スポーツ文化活動検討協議会」のもと、地域における青少年期のスポーツ・文化活動の体制づくりを進める。重点的施策事業については8項目で昨年と変わっていない。それぞれの関係部署と連携して事業を行っていきたい。

○千葉課長

社会教育の基本方針は、人づくり、つながりづくり、地域づくりということで、それらを大切に心も体も豊かになるように幅広い年代の方々に応じた学びの機会を提供することに努めていきたい。第2期人づくりまちづくり推進計画が2018年から2025年までとなっており、次の計画に向けて準備を進めながら社会教育の推進に努める。

重点施策の事業は5つの項目があり、「(1)子どもたちの豊かな体験活動の推進と自主性を育む学びの充実」の中で、「ふるさと体験広場の充実」では、昨年度と同じように職業体験、文化体験、自然歴史体験の3つを予定している。昨年度にアンケートを実施し、職業体験では「お花屋さん体験」をしてみたいという声や、昨年は「稲刈り体験」だけだったが全部を通じてやってみたいという声から、田植えから草取り、稲刈りまで、ひと通り子供たちに体験してもらうことを博物館で予定している。文化体験では、過去に茶道体験に参加した男の子が興味を持ち、茶道教室に通っており、子どもたちの世界が広がったと実感している。「子ども議会～チャレンジ応援事業～」とあるが、従来の子ども議会でいろいろ課題があったため、生徒の自主性を育てるように、これまでと内容を変更して実施を予

定している。

「(2) 青年層や高齢者の学びの充実」では、まちづくり塾で今年度、第8期生を募集する。また「士別市まちづくり総合計画」策定の準備を企画課で進めているが、若者からの意見として卒塾生からの意見聴取も計画をしている。「学び舎つくも」では、「北海道学」「教養学」「くらし」の3つのコースを予定している。

「(3) 幅広い世代の主体的な学習活動の促進」では、コロナ禍が明けたこともあり、市民の文化活動の活性化が今後予想されるので、サークルメイトのWEB版ということで、ホームページを持っているサークルに市のホームページからリンクできるような措置をしていきたい。

「(4) 地域文化の継承」は、指定文化財「屯田兵屋」の基礎の一部や外観の修繕などを予定している。

「(5) 市民ボランティア活動の促進」の中で博物館ボランティアについては、以前は40人ほどいたが現在は30人ぐらいと減少傾向にある。これまで資料整理をお願いしていたが、今は「ひな人形展」の準備や「自然講座」の手伝いをお願いするなど、今後においても活動の幅を広げていきたい。

○徳竹課長

スポーツの振興については、基本方針にある「健康・スポーツ都市宣言」のもとで、スポーツに親しむことや運動の習慣化など、市民皆スポーツの実現に向けて今年度も「士別スポーツウィーク」をスポーツ協会や各競技団体と連携しながら昨年以上に強化し推進していきたい。まちづくりの柱の一つである「合宿の聖地創造」に向けては、合宿の里士別 推進協議会を中心とした官民一体での合宿受入れ態勢の充実や招致活動を進めるほか、本市最大のスポーツイベントである「ハーフマラソン大会」や「ホクレン・ディスタンスチャレンジ大会」等の各種大会においても、市民にとって一層身近な存在となる大会の運営に努めていきたい。

重点施策については、「(1) 市民皆スポーツの実現に向けた機会づくり」で、バルシューレについては、就学前の子どもたちや低学年の子どもたちに行っていて、昨年のスポーツウィークの中では高齢者にもやってみて非常に好評で、スポーツウィークが終わった後もスポーツ協会といきいき健康センターで連携して行っており、今年も協力して行うことになっている。また、合宿で訪れる実業団の陸上の選手による陸上教室や、スポーツウィーク等の健康スポーツ活動啓発イベントの実施を行っていく。

「(2) 各種スポーツイベントの開催」については、ハーフマラソン、ディスタンスチャレンジの開催、本年は三望台シャンツェの全面改修工事が春から始まり11月いっぱいの工期であるため、今年のサマージャンプ大会などがすべて中止になる。全面改修後、12月に行うノルディックスキー大会から行われる予定となっている。

「(3) オリンピックムーブメントの普及」については、オリンピックムーブメントの啓発を図るとともにスポーツの楽しさや面白さなどの魅力を知ってもらうため、北海道オールオリンピアンズと連携した「オリパラフェスティバル」を今年の士別スポーツウィーク（6月15日から23日）の最終日、6月23日のオリンピックデーに「オリパラフェスティバル」を開催し、中学生を対象とした「オリンピアン教室」を実施する。

「(4) トップアスリートと市民との接点づくり」では、合宿や大会等で訪れる多くのトップアスリートと市民が身近に感じていただけるようなイベントとして、昨年も各実業団チームのグッズなどを市民にプレゼントということで、道の駅を申込場所としてクイズ形式のものを、広報を通じて行っている。正式に確定していないが、今年も多くの方々に合宿の選手を知っていただくため、もう少し

詰めた段階でお諮りしたい。

「(5) 合宿受入れ態勢の拡充」では、合宿選手に対する歓迎や応援の取り組みを、合宿の里士別推進協議会と一体となった招致活動や受け入れの強化を図っていきたい。

○千葉課長

文化・芸術の振興については、市民の文化活動の成果を発表する機会である「文化祭の開催」やサンライズホールの記念事業や博物館の講座の計画など、市民の活動の支援に努めながら文化に触れる機会を作ることを基本方針としている。

重点施策・事業は、朝日サンライズホールの開館30周年記念事業の時期や内容について、検討中ということで決まったらお知らせできると思う。博物館の「版画講座の実施」については、版画作家の府川 誠さんという方を講師に招いて実施予定。士別市には版画サークルのイメージがあるが、年齢層が高いということで、サークルの活性化になればということで実施する。

○三上部長

最後に、教育・学習環境の整備について説明する。今までの説明はほとんどソフト面であったが、ハード面が主だったところになる。教育学習環境だけではなく、社会教育施設や社会体育施設の建物の将来展望に基づいた整備をしていくという部分もあり、一部ソフト面としてはコミュニティスクール活動の推進、多面的な学び・育ちの充実ということも盛り込んでいる。

重点施策は4点あり、「(1) 地域とともにある学校づくりの推進」では、地域学校共同活動の一層の推進を図ることと、課題となっている中学校部活動の地域スポーツ・文化活動の体制確立に向けた連携の模索が一つ目である。

「(2) 将来に向けた社会教育施設のあり方の検討」で、公共施設マネジメント計画に基づいて今年の2月ごろから、老朽化している施設を利用している関係団体などから意見を聞いている。今年も引き続き意見を聞きながら、今後建物をどうしていくか進めていかなければならない。

「(3) 学びの場におけるICTの活用利用」で、学校におけるネットワーク環境は昨年度をもって全校に光回線が入り校内LANも整備しているが、校内の中でもつながらないところがあることから調査を引き続き行い、今後、ICT端末の更新時期がくることから道と連携しながら情報収集にあたっていきたい。

「(4) 長寿命化計画に基づく学校施設の整備・管理に関する検討」については、先ほど社会教育施設全般の話をしたが、学校の部分について個別に取り出しているもの。今年が小学校の適正配置計画の最終年度で、計画を見直す年となっている。このあとの教育推進会議でも各学校との協力のもと、また地域のご意見をいただきながらになるが、教育学習環境の整備ということで盛り込んでいる。

○泉山教育長

これについて、よろしいか。

○加藤教育委員

ICTの活用促進について、リテラシーの問題が盛り上がってくることを考えると、家庭環境の問題もあるが、こういうことを重点的にやっていったほうがいいのではないか。リテラシーの問題は何年か前にも項目はあったのか。継続的にやっていったほうがいい。

○泉山教育長

ネットワーク環境は光回線が入り、速度の改善が図られたが、リテラシーの問題など適切な利用を随時行っていく必要がある。

○山田委員

教育学習環境の整備で、将来展望に立った施設のあり方としているが、どんな将来展望になるのかというのは、公共施設マネジメント計画などから来るものなのか。

○三上部長

公共施設マネジメント計画の中に掲載されているもののほか、今後老朽化する施設もあるので、それを含めた考え方である。学校の適正配置計画の中で統廃合という話も進んでくるが、市の財政状況もあり、具体的に言うてしまうことも難しいため、このような表現にしている。

○山田委員

将来展望という言葉で逃げ道を作っているように見える。これから先も教育行政を含めてしっかり管理していくという安心感を「将来展望」という言葉では与えられない。残らない施設がほとんどだが、残った少数の施設をしっかりと管理していくというような表現ができないものか。

○三上部長

教育推進会議の中では、「将来を見据えた」という言葉でお伝えする。

○泉山教育長

これについてはよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第6号 「令和6年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○岡田課長

今回の補正予算は、小学校、中学校の空調設備整備事業としてエアコンを設置するものである。まず、35ページは小学校の空調設備整備事業で、市内全小学校の教室、特別支援教室に空調設備を設置するもので、合わせて1億7,612万6千円の補正である。36ページは中学校の空調設備整備事業として、7年度の設置に向けて今年度に事前調査を行うもので、601万7千円の補正予算となる。

○泉山教育長

以上の内容の補正予算だが質問はあるか。

○加藤委員

エアコンは屋上設置型になるのか。

○三上部長

すでに実施設計が終わっているが、学校によって壁掛け型や屋上設置型もあり、事前調査によって設計している。

○加藤委員

防水を痛めたり、雨漏りの原因となる場合もあるので、設計の段階でしっかりやっていただいているならよい。

○山田委員

前の会議で、災害のときのためにガスのエアコンを入れるとのことだったが、どうなっているのか。

○三上部長

士別小学校はガスのヒートポンプとなっており、災害時には、士別小学校ではプロパンガスでエアコンが動くことになっている。

○泉山教育長

他にはよろしいか。

(意見なし。全員了承)

○泉山教育長

議案第7号 「士別市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○岡田課長

外国語指導助手の赴任旅費、帰国旅費の支給について、規則で規定している旅費計算上の出発地、目的地が不明瞭であることから、所要の改正を行うものである。

○泉山教育長

このような形でよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第8号 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用した士別市における体力等の分析結果」について説明を求める。

○石橋アドバイザー

(別紙資料を基に説明)

評価の対象は5年生と中学2年生である。種目は新体力テスト8種目で、市内では1年生から中学3年生まで全学年で行っており、全国集計を5年生と中学2年生で行っている。

8種目単位バラバラなものをT得点という考え方で表しているが、小学校男子では、ほとんどの種目で全国値、あるいは全国値超えとなっている。小学校女子は、男子と比べると全国を超えているものが少ない。総合評価は、A、B、C、D、Eの5段階の評価で、小学校5年生男子ではA、B、Cでほとんど7割を超え、全国よりもA、Bの数が多い。5年生女子は、Cが50%で多くなっている。中学校2年生男子は、A、B、Cで80%を超えており、下位グループが少ない。中学校2年生女子では、Cが2割ぐらいで、運動ができることできない子が二極化している。

まとめとしては、体力的なものはいい結果も出ているが、男子は上位が多く下位の子が少ない。女子は中2に代表されるように二極化となっている。これが今後の各学校での体力面の課題であり、それを払拭するための今後の対応として記載している。

士別市の校長会に校正をかけており、何か気になるところがあればホームページ掲載前に修正したい。

○泉山教育長

運動能力は総じていい。

○石橋アドバイザー

士別市の小学校に体育エキスパートが1名加配となっているが、実績として出てきている。今年、士別中学校に体育のエキスパートが加配になっているので、次年度にいい結果が出ることを期待している。

○泉山教育長

お気づきの点があれば、あとでもよいのでお願いしたい。よろしいか。

(意見なし、全員了承)

3 その他

◇市立図書館における国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の活用について
三上部長説明。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後2時46分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者

泉山 浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦